



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	森林の健全化及び育成		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	—				総合計画／後期計画(4-1-2)重点施策4による			
活動指標	指標	a	作業路網整備	b	間伐促進	c	竹林整備	d	森林等の保護
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	—

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
森林の健全化及び育成		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 作業路網整備	m	700 m	22,500 m	11,802 m
b 間伐促進	ha	5 ha	298 ha	100 ha
c 竹林整備	ha	— ha	1 ha	1 ha
d 森林等の保護	件	15 件	22 件	22 件

## 4. 課題と対応

課題
施業範囲の把握及び境界確認に困難を来している
対応(改善点等)
所有者及び境界の確認を行う

## 5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

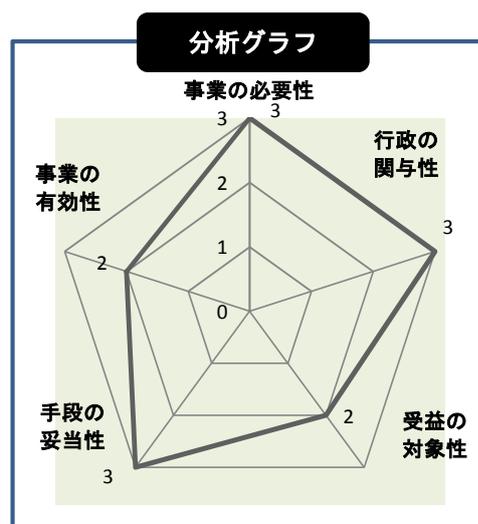
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		285,446	63,815	54,713	47,418
うち経常経費		44,305	40,528	37,627	46,872
財源内訳	国費			4,131	
	県費	226,025	31,139	29,057	28,842
	市債				
	その他		647		
	一般財源	59,421	32,029	21,525	18,576
うち経常		25,454	20,928	15,262	18,576
事業費に係る人件費		7,217	6,827	6,526	6,837

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平成23年度に策定する市町村森林整備計画の施業計画により実施していく

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 適正な森林管理を行うためには必要な事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 小規模な森林所有者が大半を占める現状では、市が中心となって事業を進める必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 森林所有者が対象となっているが、放置竹林対策等においては、農業者も利益を受ける
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 健全な森林の育成管理に必要な事業である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 計画的な管理を必要とする



## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	森林整備計画に基づき事業の推進を行うこと